

平成30年度 第1回江南市総合教育会議 会議録

開催年月日 平成30年8月10日（金）

場 所 市役所第2会議室

出席委員	市長	澤田和延
	教育長	村良弘
	教育長職務代理者	松尾昌之
	委員	後藤鎮全
	委員	藤田佐知子
	委員	山田茂美

会議に出席した事務局職員

企画部長	片野富男
秘書政策課長	茶原健二
秘書政策課主幹	河田正広
教育部長	菱田幹生
教育課長	稻田剛
教育課管理指導主事	伊藤勝治
教育課統括幹	中村雄一
教育課主幹	仙田隆志
教育課主査	都築尚樹
生涯学習課長	可児孝之
こども未来部長	郷原実智雄
こども政策課長	鵜飼篤市

傍聴者数 1名

議 題 (1) 小学校水泳授業の民間委託について
(2) 教育に関する大綱について

午前9時28分 開会

<企画部長>

私、企画部長の片野でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。若干定刻よりお時間のほうは早いですが、ただいまより「第1回 江南市総合教育会議」を開会させていただきます。

この会議につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第1項の規定に基づきまして、本市の教育に資するため設置するもので、市長と教育委員会が十分な意思の疎通を図り、本市の教育に係る課題やあるべき姿を共有し、連携して教育行政に取り組むものでございます。

それでは、開会に当たりまして、澤田市長より挨拶を申し上げます。

<市長あいさつ>

おはようございます。江南市長の澤田でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。本日は、大変お忙しい中、平成30年度の第1回江南市総合教育会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。

今、企画部長のほうからお話がありましたように、この総合教育会議は、首長と教育委員会が連携して教育行政の推進を図ることを目的とする会議であります。

今年度は、全国で地震や集中豪雨、7月中旬から続く猛暑日と各地で被害がでており、江南市においても6月下旬に大阪北部で発生しました地震で小学生が倒壊したブロック塀によって犠牲になった事案を受け、市内全小中学校のブロック塀等の点検を実施して、ブロック塀の撤去、改修を行うよう、児童生徒の安全の確保に努めているところです。また、近年の猛暑により、快適な学校生活を送ることができないということから、多くの市民の皆様からの声を受け、早期に市内全小中学校の普通教室などへのエアコン設置に向けて検討しているところでございますので、よろしくお願ひします。

さて本日の会議は、「小学校水泳授業の民間委託について」と「江南市の教育に関する大綱」の現在の状況について、協議してまいりたいと考えております。

教育委員会の皆様には、御専門の立場から率直な御意見をいただくことをお願ひいたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。

<企画部長>

ありがとうございました。本日の出席者につきましては、お手元の名簿と配席図をもって代えさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。では、ここからの進行は、本会議の招集者でございます澤田市長にお願いをいたします。

<市長>

それでは、議事を進めてまいりたいと思います。

最初に、議題①「小学校水泳授業の民間委託について」でございます。事務局から説明をお願ひいたします。

<事務局説明>

それでは、小学校水泳授業の民間委託について説明させていただきます。

お手元にお配りしましたのは、『小学校水泳授業の民間委託について』という資料と、『江南市公共施設再配置計画』の概要版となっております。

まず、公共施設再配置計画についてでございますが、平成 24 年 12 月の笹子トンネル事故を契機に、社会インフラの老朽化対策が国・地方公共団体・民間事業者を挙げた喫緊の課題として強く認識されるようになっていく中で、江南市においても、現在有する公共建築物をこれからも同規模のまま健全に維持していくことは、財政的に不可能であることが明らかとなっており、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などによる効率的な施設運営や財政負担の軽減・平準化を目指し、昨年度、取りまとめた計画でございます。

市が所有する公共施設の延床面積のうち、約 53%を小中学校が占めるなか、そのうち約 80%の校舎等が築 40 年以上経過しており、過去に建設された公共施設等が老朽化し、これから一斉に改修・更新時期を迎えることから、施設の維持管理や更新にさらに莫大な費用がかかることが予想されます。

『小学校水泳授業の民間委託について』という資料は、平成 25 年度から、老朽化に伴いプールを解体した 2 校で民間委託を実施している千葉県佐倉市の資産管理経営室の職員の方に江南市でご講演いただいた際の資料をもとに作成したものでございます。

まず、主なメリットといたしまして、プロのインストラクターによる効果的な指導、児童生徒のレベルごとに指導者の配置が可能となり、教職員もスイミングスクールに同行することでカリキュラムに沿った指導と高い安全管理を確保、水温・水質が一定で、天候に左右されない安定したカリキュラムを確保することで児童生徒の体調維持や高い衛生管理が可能となること、また騒音対策やプライバシー保護、学校職員のプール維持管理、安全管理に関する負担軽減、プール跡地の有効活用などがあります。

一方、デメリットとしては、児童生徒の移動が必要となること、夏休みの利用、消防水利としての利用、中学校の部活動での利用に対する対応策を講じる必要があることなどがあります。

佐倉市では、児童生徒の移動には、民間スイミングスクールバスを利用し、移動時間を節減するために 2 コマから 3 コマの水泳授業を連続して実施することなどで、デメリットの解消を図っているとのことでございます。

佐倉市の試算によりますと、プールを改修、更新し、維持管理する場合と、水泳授業を民間スイミングスクールに委託した場合とのライフサイクルコストの比較で、30 年間総額で 13.6 億円、約 44%のコスト縮減効果があるとしております。

1 枚はねていただきまして、2 ページをお願いいたします。

佐倉市では、当初は反対の声が上がったものの、民間委託による教育面、安全面、財政面のメリットを説明し民間委託を導入したところ、児童生徒や保護者からの評判はよいとのことでございます。

現在もプール開放、濾過用フィルター等の設備面などの課題があり、市内の事業者で全校分の受入れは不可能で、3 校に 1 校までプールを減らす、市営プールを屋内プールに改修する必要性などさまざまな検討を進めているとのことでございます。

1 枚はねていただきまして、3 ページをお願いいたします。

昨年度策定いたしました江南市公共施設再配置計画の抜粋でございます。

再配置計画におきましては、人口減に伴う学級数の減少が見込まれる学校や老朽化が進行した校舎は、学校に近接する施設と同時に更新・改修を実施し、複合化することで、地域住民の生涯学習、文化・スポーツの活動の場とし、効率的に安全性を確保しながら、地域コミュニティの核となる施設として整備してまいりたいと考えています。

また、校舎のほかにも、市内の小中学校 15 校のうち、11 校のプールが築 30 年を超え老朽化が深刻化しつつあります。学校プールは 1 年のうち、ごく限られた期間しか利用されないにも関わらず、改修や更新には多額の費用を要することから、学校の水泳授業の民間スイミングスクールへの委託をしてみたいと考えております。

本市では、中学校での部活動への影響を考慮し小学校のみでの導入を検討しており、今後、民間スイミングスクールと教育委員会事務局、小学校とで、カリキュラムに沿った授業内容の確認、年間スケジュール等の詳細の検討や、対象校を選定した上で、学年単位で、1 年から 2 年ほどの試行期間を経て本格導入し、対象学年、対象校の拡大に繋がりたいと考えているところでございます。

小学校水泳授業の民間委託についての説明は以上となります。

<市長>

ただいまの説明につきまして、ご質問等はございますか。それでは、松尾委員から順にお願いします。

<松尾委員>

小学校水泳授業の民間委託につきましては、基本的には妥当であろうと考えます。学校施設の整備には、多大な費用が掛かり、例えばトイレ改造やエアコンの設置など課題が山積しており、費用対効果の観点から事業の見直しをしていくことは必要と考えます。そして、教育の内容や水準が下がるようなことがあってはならないが、そうでなければ妥当な考えであると思います。

<市長>

はい、続きまして後藤委員をお願いします。

<後藤委員>

時代の流れからすると民間委託することには当然と考え賛成である。江南市内にくつかスイミングスクールがあるが、現状で事前調査はされていると思うが、どれだけの業者が受け入れてくれるのか、受入れをしてくれるとすると、どれくらいの学校の児童数を受け入れることが可能なのか。また移動にはバスが必要となるが、佐倉市の場合はスイミングスクールのバスを利用して移動しているとのことですが、江南市の場合は、それが可能なのか、もし可能でなければ民間のバスを使用するのか。また、夏休みのプール開放について、佐倉市は市全体でバランスを取るために開放を行っていないとのことだが、江南市の場合はそのようにしていくのかを教えてください。

<市長>

事務局から説明をお願いします。

<事務局>

スイミングスクールは市内に四つございまして、その内の一つでティップネスというスイミングスクールでお話を聞いていただきましたところ、非常に面白い取り組みだということで、今後、色々と市の事業にも協力していきたいという回答をいただいております。定休日が、木曜日でその日を学校の授業に充ててもよいし、また昼間のプログラムを徐々に縮小して授業に充ててもよいと言われておりますので、順次、検討をしていきたいと思っております。また、バスに関しては、施設の送迎用のバスを所有しておりますので、そちらを利用できるかと思っており、例えば愛知県の大府市が今年から試験的に導入されていますが、6年生の5クラスで約180人の授業でスイミングスクールを利用するというので、こちらは現在、徒歩でプールまで移動しているとのことですが、来年度以降は、1年生から6年生まで全学年に拡大し、さらに再来年以降は、他校にも拡大していくとのことを検討しているということで、民間のバス会社に委託をしていくなどを検討されているということです。江南市におきましても順次、拡大をしていきたいと考えておりますので、バスの調達などについても考えていかねばならないと考えております。またプールの開放については、小学校のみ導入を検討しており、中学校のプールは残るため、場合によっては中学校のプールを部活動で空いている日を利用することも検討していければと考えています。今後、教育委員会事務局とも詳細について協議しながら検討していきたいと考えています。

<市長>

説明が終わりました。その他、ご意見はございませんか。ご意見もないようですので、山田委員からのご意見をお願いします。

<山田委員>

水泳の民間委託については、最終的には賛成したいと考えております。ただし、賛成する上で、児童生徒の教育がうまくなされるのか、以下の3点、「安全面が重視されるので、安全に水泳の授業ができるのか」「教育の中身の質はどうか」「児童生徒が平等か」に着目したいと思います。

まず、民間委託で教育の推進がされるかどうかに着目しますと、当然、委託後も学校の先生が水泳指導をされることとなりますが、加えて委託先の水泳のプロが泳ぎの実演をしてくれることにより、見て学ぶ機会が増え、教育の推進につながると思います。次に安全面ですが、まずは、児童生徒が、校外へ移動することに苦痛を感じてはいけいないので、そのケアが必要です。さらに、バスのサポートも必要になると思います。それに関しては、コミュニティ・スクール等でのボランティアや他の補助をうまく活用できないか。そして、平等については、小学校10校すべてが民間委託でないと「あそこの学校はいいな」とか「あそこの学校でなくてよかった」という思いが生じかねない。そうならないようフォローが必要になると思います。以上、対応すべき点はありますが、教育の水準向上を目指すためにも、水泳指導の安全な環境で、プロ

の泳ぎを見て学べる民間委託がよいと考えます。その他、一点、懸念材料としては、民間委託をすることにより小学校のプールがなくなり、その後、万が一、民間委託先がなくなってしまった場合、子ども達が教育を受ける場所がないということにならないよう検討していかないと危険だと感じます。以上です。

<市長>

ありがとうございました。それでは、藤田委員お願いします。

<藤田委員>

私もプール民間委託は合理的ですごくいいなと思います。賛成です。ただ一つですが、着衣泳を小学校2年生で行われていますが、着衣泳が民間委託をすることによってなくなってしまうのではないかと心配します。

<市長>

はい、着衣泳のことは、何か触れていますか。

<事務局>

今後も、これから民間のスイミングスクールと事務局の間で協議をし、カリキュラムの確認や事業内容、スケジュール等を詰めていきますので、着衣泳についても実施が可能かどうかについても確認していきたいと思います。

<市長>

ありがとうございました。それでは、教育長お願いします。

<教育長>

先程、事務局から話があったように、実は尾張部都市教育長会議の中でも小学校のプールの民間利用が話題になっていて、先程、紹介があった大府市、常滑市が試験的にやるということで、行っている実態があるということでもありますから、方向性としては間違いではないのかと思います。一つ質問したいのは、民間委託なのか、民間委託というのは、私自身は丸投げの状態を意味することで、民間プールの活用なのか、この辺をはっきりさせておきたいなと思います。先程、山田委員さんが言われた教育の基準を考えると、確かにプロではあるけれど教員免許をお持ちなのか、その辺のところもわからないので、実際、今の小学校でも中学校でも民間の方が授業に入る時は、IT的な形、要するにサポート的に入っていただく形で教員が指導をとる、英語の授業でもそうですが、あくまでも教員が指揮をとって民間の方にサポートしていただくというスタンスが教育の中ではあるものですから、そういう意味で民間委託というのは、丸投げの状態を言っているのか、私が考えているような民間のプールを活用する、要するに小学校のプールは老朽化し維持管理も大変だから、民間が受けてくれるなら、民間のプールを活用し先生が授業をし、ただインストラクターがサポートしてくれる、

いろいろな支援をしてくれる、そういうスタンスを考えているのか、どっちなのかな、と思う訳であります。自分としては、後者の方は賛成であり、完全に丸投げは、やっぱり今の段階では不安が残る。先生が連れて行かれる引率係で後はお任せします、いくらカリキュラムの相談をしたとしてもなかなかその辺は、指導要領に基づいた実際の子供一人ひとりの状態を確認しながら授業をするのは、なかなか難しいだろうと思います。そこだけ、ちょっと確認しておきたい。

<市長>

事務局の説明をお願いします。

<事務局>

佐倉市を始めとした実施中の自治体にも確認していきたいと思いますが、予算書や決算書を確認すると委託料ということで支出されております。また、教職員も同行することで、インストラクターと一緒に安全確保だとか授業の内容を確認しながら授業を行っているという聞いております。その辺りの役割分担だとか責任についての詳細についても調査し、調整をしていきたいと考えております。よろしくお願いします。

<教育長>

個人的な考えですが、民間に丸投げするような授業体系では、ちょっと不安が残る。あくまで、民間プールの活用という範疇で進めていくなら、それも一理あるなというふうに思います。今現在、一時間の学校にあるプールを利用している授業時間が45分ですが、着替えがあつて準備運動があつてシャワーを浴びたりして実際に入るまでに約15分かかる、終わったら整理運動、着替えなどをして教室まで戻るまでやはり15分ぐらいかかる、特に低学年辺りは随分時間がかかる。45分の中で約30分近くはそういうものに使われていて、実際にプールの中の指導を考えると、20分からせいぜい25分程度が精一杯ではないかというのが現状だろうと思う。それを一時限単位で考えると民間に連れて行くことは大変だろうと考えます。先程の佐倉市などでは3時限セットですが、2時限セットぐらいで考えていかなければいけないだろうと思います。仮に行くのに20分かかります、帰りに20分かかります、90分の内40分が移動等にかかったとしても、50分はプール内で活動ができるとなると実質の2時限分は確保できるのであれば、それは可能ではないかと思います。輸送には、学校規模にもよるでしょうが、スイミングスクールだけのバスでは対応できない状況は当然生まれてくる可能性はあると思いますので、その辺を検討することが大きな課題だと思います。それから、平等性の話がでましたが、先程出ました4つの民間プールの内1つはいいですよと言っている、木曜日とは何か協力できますよという話だとすると、実際に小学校10校あつて、一番大きい学校で言いますと今現在、布袋小学校ですが、850人近くいます、古南、古東で800から830人近くいます、それだけの生徒児童を民間プールの活用が現実的に可能なのか、それを見据えていかないと試行的にやるというのは、あくまで先があるから試行的にやるのであって、先が見えないのにやるというのは、

やっぱりよく検討する必要があると自分では思います。花火ではないが、ただやりまただけではいけないのではないかと思います。じっくり検討していく必要があると思う。将来、みんなやるんですかと、やるが取りあえず、今はここをやっていきましょうというスタンスであればいいと思うが、ここだけで終わります、ということになると、先程、山田委員さんがおっしゃったようなある意味、不公平感が生じるのではないかと思います。面積を減らさなきゃいけない、プールの老朽化対策ということはすごく大事なことで、一つの方策で必要だと思っています。プールの維持管理は本当にお金のかかる、実際、自分がやっていたときにも、プール掃除には時間がかかり、毎日、水を循環させなければいけない、ゴミなどが投げ入れられてしまえば水の入れ替えをしなければいけない、本当に維持管理としては大変だと思う。何とかして解消しなければならぬと思う。その一つの方策として民間プールの活用は、検討していく必要はあるが、いろんな課題がまだまだあると思う。

<市長>

他にご意見はないですか。意見もないようですので、次に議題②「江南市の教育に関する大綱について」でございます。議題②については、重点施策の進捗状況の報告となりますので、教育課、こども政策課、生涯学習課の順で報告をお願いします。

<教育課長>

江南市の教育の大綱について、ご説明させていただきます。澤田江南市長が就任されたのち、総合教育会議にて議論を重ね、平成28年2月に策定しました、「江南市の教育に関する大綱」につきましては、今年度が最後の年度となっています。今回は、平成30年度の進捗状況の報告と同時に、総括の報告となりますのでよろしくお願い致します。新たな、「江南市の教育に関する大綱」は、平成31年度の総合教育会議の中で議論をお願いしたいと考えていますのでよろしくお願い致します。

それでは資料1の「江南市の教育に関する大綱」をご覧ください。2ページをお願いいたします。

大綱は教育行政における目標や取り組み方針である「基本方針」と重点的に取り組むべき「重点施策」で構成されています。基本方針は、柱1から柱4まであり、柱1が教育課、柱2は教育課とこども政策課、柱3がスポーツ推進課と生涯学習課、柱4が生涯学習課の分野となっています。

それでは、3ページをお願いします。

柱1「地域に開かれた快適で安全な学校づくり」に対応する施策としまして、「①コミュニティ・スクール事業の推進」について、30年度の進捗状況をご説明します。

コミュニティ・スクール事業は地域とともにある学校づくりを目指すため、学校と地域が連携し学校運営を進め、教育力の向上を図るものです。

本年度、古知野北小学校、草井小学校、北部中学校に学校運営協議会を設置し、昨年度から設置している古知野西小学校、西部中学校と合わせて5校がコミュニティ・スクールとなりました。残りの10校につきましては、来年度からの設置に向け研究

を進めているところでございます。

それぞれの学校の課題などを地域の方々と共有し、特色のある学校づくりを目指してまいります。

続いて、「②学校施設の整備、充実」について、30年度の進捗状況をご説明します。

安全で快適な学校生活を送ることができる教育環境を構築するため、快適な学習環境の整備や、老朽化した校舎等の改修など学校施設の整備、充実を図るものです。

文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用しながら、昨年の古知野南小学校に引き続き、現在宮田小学校、北部中学校でトイレ改修工事を実施しているところでございます。今年6月に入札を行い、夏休みから11月末にかけて、トイレを和式から洋式トイレに改修するとともに、床は掃除のしやすい湿式から乾式へ変更、また、配管を一新し、におい、つまりなど全面的に修繕してまいります。

近年の酷暑による、学校の学習環境を整えるため、早期にエアコンを設置できるよう取り組んでいるところでございます。

また、江南市学校給食基本計画策定委員会を開催し、老朽化した学校給食センターの更新や、アレルギー対応食などについて検討を行い、施設の整備に向けて、学校関係者、保護者代表、医師、保健所職員などの有識者に委員として入っていただき、学校給食基本計画の策定に取り組んでいます。

続いて、「③特別支援学級等に対する市費による人的支援の推進」について、30年度の状況をご説明します。

特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒に対する支援の充実を図る特別学級等支援職員などについて、市費での人的支援を図るものです。

30年度は、保護者や学校現場において要望の多い特別支援学級等支援職員を2名増員し、小中学校合わせて21名で支援を行っています。

また、32年度から始まる小学5・6年生を対象とした英語の教科化及び3・4年生を対象とした外国語活動時間数の増加のため、英語指導助手を1名増加し、委託分の3名とあわせて5名で指導を行っています。32年度の完全実施に向け、更なる増員が必要となります。

また、県費負担の養護教諭が1名減員となったため、市費で養護教諭を1名配置しました。市費採用の養護教諭は規模の大きな、古知野東小学校、古知野南小学校、布袋小学校、古知野中学校、布袋中学校、宮田中学校に配置し、計6名としています。

続いて、「④ICT環境の整備」について、30年度の状況をご説明します。

児童・生徒の能動的な学習への参加を促し、思考力や表現力、発表力などを育むため、ICT環境の整備を図るものです。

30年度は、小学校に続いて、中学校においても、教員、生徒にタブレット型パソコンを配置し、無線LANの整備、プロジェクターなどをこの夏休みを利用して整備してまいります。

4 ページをお願いいたします。

続きまして、「柱2 将来にわたって活躍できる人づくり」に対応する施策といたしまして、

「①子どもの将来教育・社会体験の充実」について、30年度の状況をご説明します。

勤労観・職業観の育成を発達段階に応じて教育活動の全領域で取り組むため、地域との連携を強化し、キャリア教育、ボランティア活動の充実を図るものでございます。

キャリア教育といたしましては、今年度も、中学校5校の2年生で職場体験学習を実施していく予定です。職場体験学習の場を提供していただける事業所を、商工会議所やロータリークラブなどの関係機関にご協力いただき、約200の事業所から選定できるようになっているところでございます。また、今年度は古知野南小学校において、愛知県から研究指定され、キャリア教育に関し、取組みを行っているところでございます。

以上で教育課の分野について説明を終わります。

続いて、「②放課後子ども総合プランの推進」については、こども政策課からご説明します。

<こども政策課長>

続きまして、②放課後子ども総合プランの推進につきまして、こども政策課よりご説明いたします。放課後子ども総合プランは、放課後子ども教室と学童保育に通う児童が放課後などに共通プログラムなどの様々な体験や活動を通じて次代を担う人材を育成することを目的とした放課後対策事業でございます。平成30年度現在、放課後子ども教室につきましては、市内7小学校で実施しており、そのうち4小学校につきましては、放課後子ども教室と学童保育が連携し、共通プログラムを実施している状況でございます。なお、未実施の3小学校につきましては、放課後子ども総合プラン江南市行動計画において平成31年度には、7小学校で実施するとの指標の実施に向け、協議、検討を図って参りますので、よろしく申し上げます。以上でございます。

<生涯学習課長>

続きまして、「柱3生涯を通じて能力を伸ばし、活かせる機会づくり」についてご説明いたします。はじめに、「①県、大学などの外部団体との連携によるスポーツ事業の実施」でございます。県又は大学などの外部団体との連携体制につきましては、今のところ新たな取り組みはございませんが、今後におきましては、日本体育大学との協定に基づいた連携を図って参りますのでよろしく申し上げます。次に「②新図書館建設への取り組み」でございます。市民の「知」の拠点であり生涯学習施設の中核として、これからの図書館がどうあるべきかを調査・研究し、これからの図書館が担うべき役割や備えるべき機能を持つ、図書館の基本計画策定の検討など行っていくも

のでございます。

進捗状況といたしましては、「これからの江南市立図書館のあり方を考える職員検討会」を、平成27年11月には若手職員、平成28年12月には中堅職員を対象に行い、更に、平成29年3月には「図書館で活動するボランティアを対象とした意見交換会」を行い、意見を聴取しました。

また、平成29年2月には「つながる図書館」の著者、猪谷千香氏を招き、生涯学習講演会「まちの未来につながる図書館」を開催し、市民とともに図書館のあり方を考えるきっかけを作りました。

平成30年度の実施内容といたしましては、図書館に関する情報を市民と共有し、図書館に対する認識を啓発するとともに、市民や図書館ボランティア・市職員などと江南市の特性にあったこれからの図書館のあり方を検討し、合理的かつ効果的な新たな図書館の構築を目指すため、「江南市図書館基本計画」の策定を行います。また、江南市の新たなシンボルとして建設を目指しています布袋駅複合公共施設へ現在の図書館を移設する計画も進めています。

5ページをお願いいたします。

続きまして、「柱4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実」に対応する施策といたしまして、「①文化の振興・郷土の歴史の継承で心を豊かにする地域づくり」でございます。

事業内容といたしましては、市民文化会館は、文化振興の拠点として、地域住民の文化、教養及び福祉の増進を図るため、施設の運営や事業を展開しています。また、中学生歴史教室や教養講座等で、郷土の歴史に愛着を持てるよう、事業を進めています。

平成30年度実施内容といたしましては、劇団飛行船マスクプレイミュージカルなど「次世代を担う子ども向けの事業」やサマーフェスティバルなど「市民参加型文化事業」を展開し、地域の文化芸術活動の拠点となる事業の推進としております。なお、今年度、第3期指定管理期間が終了することに伴い、平成31年度からの指定管理者の選定を進めております。

また、伝統芸能の展開として、6月2日と3日に、第46回文化祭を開催いたしました。

今後の展開といたしましては、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するため、引き続き、「次世代を担う子ども向けの事業」を展開するとともに、市民文化会館を安心安全に利用できるよう、施設の整備を図ります。また、教養講座など、江南市の歴史や文化的資源を活用した事業を展開し、文化の向上を図ります。説明は以上でございます。

<市長>

説明が終わりました。この件につきまして、ご質問、ご意見があればいただきたいと思います。

<松尾委員>

特別支援教育は、ある意味、学校教育の原点であり、特別支援学級に対する人的支援については充実したものにしていきたい。

<後藤委員>

大阪北部地震でのブロック塀倒壊を受け、江南市内の小中学校の施設においても早期に調査等の対応をしていただき、大変感謝している。また、今年は大変な猛暑で政府も対応していくという前向きな話がある状況であるが、江南市として、今後の対応はどのようにしていくのか、詳しいことが分かっていたら伺いたい。

<教育課長>

エアコンの小中学校への設置については、まずは小学校 10 校について設置するための設計委託費を 8 月臨時会に補正予算として上程して参ろうと考えています。出来れば、来年度から設置していきたいと考えていますが、国の交付金の交付状況もあり、どのように進めていくかについては決まっていません。

<後藤委員>

今年の暑さで、各学校の様子が分かれば教えていただきたいのと、その間の学校の対応はどうだったか、また具合が悪くなった児童生徒はいたか。

<教育課長>

この夏、熱中症に近い症状等の生徒が、各学校で数名程度いたということは聞いております。暑さ対策としては、数は少ないですがエアコンが設置してある特別教室を交替で使用しながらの授業をされたなどということを知っております。

<後藤委員>

児童生徒の健康チェックを家庭と連携を取りながら、進めていくのが重要と思いますので、よろしくお願いします。

<市長>

それでは、山田委員お願いします。

<山田委員>

学校施設の整備、充実に関し、子供達に安全に教育を受ける環境を提供するためにエアコンの設置は必要を考えます。常に危機感を持って私たちも対応していかなければならないと思います。また、ICT環境については、昨年度は小学校にタブレットを導入していただき、学校訪問した際に、タブレットを活用した授業を拝見しました。そして、今年度の夏に、中学校に対応していただいています。中学校ともなりますと小学校とは違った用途でパソコンを活用するため、デスクトップ型の従来のものを残

したうえでタブレット導入であり、学校側からのニーズをよく聞いていただいた対応に大変感謝しています。

ところで、4ページの柱3①について、外部団体との連携体制を構築するというのは、具体的にどのようなことをされていくのか教えていただきたい。

<教育部長>

日本体育大学との協定を結んでいるということで、具体的には、K T Xアリーナの開会式で日本体育大学との協定の中で何か出来ないかということで進めていたのですが、今年5月の会館の際にはなかなか協定の中での事業が出来なかったということですが、これから何かをやっていく機会に出来るかどうかを進めていきたいということです。

<市長>

それでは、藤田委員お願いします。

<藤田委員>

3ページのICT環境の整備で、小中学校にタブレットが導入され、いきいきと生徒たちが授業を受けている。これで、バーチャルリアリティーとか入れて活用すると、例えば、昔の江南市の街並みをリアルに感じられるようになったら、興味を持ち歴史を学べるのではないかと感じました。また、柱2の放課後子ども総合プランで、多数の申し込みがあって抽選をして、選ばれた子供たちが、この放課後子ども総合プランに参加しているという状況ですが、例えば、そこへ申込んでいないけど子供が下校してその後、学校へ行って遊べる場所の提供をしていただくことが出来るのか、もし検討していただければありがたいと思いました。柱3の新図書館の取り組みについてですが、昔は図書館へは調べ学習に行く場となっていたが、今ですと、もちろん本を借りに来る方も見えますが、勉強している人や雑誌や新聞を読んでリラックスしている人、幼児などに読み聞かせている人が非常に見受けられますので、学習スペースやカフェスペース、キッズスペースなどを設けていただけたらいいなと感じました。行きたくなるような図書館になればいいなと思いました。以上です。

<市長>

ありがとうございます。それでは、教育長先生お願いします。

<教育長>

重点施策については、概ね順調に出来ているのではないかと思います。自分自身、行政の立場としての評価をさせていただくと、例えばICTについては、去年は小学校に入り、今年は中学校に入り、非常に大きな予算を組んでいただき、子供達が活用できる環境を整えていただいたということでもありますので、今度は、これをどのように活用していくかというのが、これからの教育行政の手腕の間われるところではないかと

思っています。情報研究部会では、小学校に導入してからちょうど1年経つので、どんな風に活用しているのかという調査をさせていただくという話を伺いましたので、その結果を基に具体的にどのように活用されて、どれくらいのパーセンテージで利用されているかについても資料にしていきたいと思う。これはまた、中学校についても同様に来年やらなければならない。もう一つは、子供達にもICTが導入されてどう授業が変わったのかという感想などもアンケートで調査していただきたいと思っています。それから、人的支援についても今年は、特別支援員が2人増、養護教員が1人増、そしてスクールソーシャルワーカーも入った、ALTも入れていただいた、本当にそういった意味では、予算の非常に苦しい中で、そういった人事配置をしていただきありがたいと思う。学校設備については、様々な問題を抱えていますが、トイレの改修も着実に進んでおり、エアコンについてもいよいよ検討に入った、まだまだやらなくてはいけない、給食センターの問題、図書館の問題もありますが、なかなかすべてが解決していかないが、それぞれ知恵を出しながらやっているところです。また、コミュニティ・スクールについても順調にきてスタートした時にはこれではいけないのかなというようなイメージを持っていましたが、実際に地域と一緒に学校づくりをしていくというスタンスに向かっていただいている、平成31年度には15校全校でコミュニティ・スクールとしてスタートしていく訳ですが、本当に地域から多くの支援をいただいているというふうに学校は喜んでます。また逆に学校も地域の要請に応じた対応をしていただいているということで、江南型のコミュニティ・スクールとして有効な活用が出来ているのではないかと評価をしています。あと、放課後子ども教室については、7校しか実施していないので、是非10校で開設してほしいという声があるのは間違いありませんので、こども政策課とも協議をしながら、余裕教室を特別教室化していますが、それが有効に特別教室化されているかどうか、もう一度検証しながら有効に活用できるものなら、放課後子ども教室の設置に向けて検討していかなければならないと思っています。是非とも全部の学校に設置出来るようにしていかなければならないし、そして総合プランの方も設置した以上は全部していく必要があるかな、やっていく必要があるかなと思う。今年度、試行的に宮田小学校がやられるという話ですので、徐々に総合プランが出来てきているのではないかなと思う。そんなことで、全体としては30年度までの大綱についての重要施策は出来てきているのではないかなと思いますので、31年度からの第2期になるが、どのような重要施策になるかについて教育委員の皆様方と協議しながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

<市長>

私からも少しだけ、述べさせていただきます。地域に開かれた学校づくりということで、江南型のコミュニティ・スクールを作っていくということで、教育委員会にもご協力いただきしっかりと取り組んでいて、いい形であるという報告をいただき、うれしく思う訳ですが、特に地域の方々の協力はすばらしいことで、これまでとは少し違った形での学校への協力ということで、うれしく思っている訳でございます。また、

学校のICTについては、とにかく私からしてみれば1年の遅れが後々にはもっと遅れることになってくるのではないかと思い、1年でも早く導入していきたいということで決めさせていただきました。そうした中で、学校の先生方には本当にご苦勞をかけた面が多いかと思いますが、学校環境の向上ということで楽しみにさせていただきたいと思います。学校施設の整備充実というところで、酷暑で命を脅かすような暑さということで、議会からも保護者の皆様、市民の皆様方からたくさんのご意見や要望をいただき、エアコンを設置してほしいというような要望もございました。そうした中で、優先順位を付けてやるべきだと考え、豊田の事件を受け、エアコンの設置については早急にやるべきであると思っています。もともと助成金等を活用して対応していくことは決めていましたので、予算等で負担をかけない方法でということで研究していたところですが、とくかく臨時議会を開いてでもやる姿勢をみせたいということもあります。まずは設計ということでやっていきます。早期にやっていかなければいけないということ、しかも同時にやっていかなければいけないと思っています。まずは、小学校ということで考えていますが、懸念されているのが資材の不足、業者の取り扱いなどということがすでに言われています。機械を設置したものの、配管ができない、結局9月に稼働ができないかと思っていたところが、来年になってしまうということがありまして、先へ回されるということもございますので、江南市としましても、そういったことをしっかり見据えていきながら、無理なくやっていかなければいけないと思う。予算的には正直言って非常に大きなお金がかかってきます、設備費もそうですが、今後の維持費もかかってくることもしっかり算定していかななくてはいけないし、このことを逆に将来の子供達に負担をかけてしまっではいけないものですから、市全体でこの問題を考えなければいけないと思います。従いまして、子供達に対応する教育委員会の方にも、またそれぞれの学校の方からも暑さ対策について、きちっと指導していただきまして、この暑さ対策については、きちっと取り組みがされていると思います。場合によっては、トイレ環境についても学校に差はありますが、取り止めをするだとか、時期をずらすということも検討されているようで、エアコンにつきましては、一度にやるのが非常に難しい中で進めているということで、他の事業に影響を及ぼすことになるかもしれないことは、ご理解はいただかなければならないと思っています。そうした中で、少しお願いをしていかなければならないのが、健康管理面というお話がございました。昨今、朝ごはんを食べて登園、登校しない子供達が増えているということで、これがどれくらいの実数かはわかりませんが、こういうことが日常に対することだけではなく、その他にも影響を及ぼすと言われておりますので、早寝、早起き運動というものをしっかりやっていきたいと思っています。

最後に、図書館の話でございます。図書館につきましても老朽化しているだとか、狭い、遠いとか様々なことが言われましたけれども、今の布袋の開発の中でうまくこれを取り入れることができ、また交付金についてもつくと言われております。こうした制度を活かしながら、やっていきたいと思っています。いわゆる現在の図書館を移設していくことを考えています。中身につきましては、現在、図書館基本計画策定委員会で民間の方々、専門の方々にご意見を聞きながらやっています。市民参加による立派な

図書館を、いろんな考え方がありますので、滞在型の図書館であったり、本当に資料的な調べものをする図書館であったり、多くの人が勉強したり、くつろいだり、色々な図書館がございますので、そうした中で江南型のものができればいいかと思えます。私からは以上でございます。

<市長>

他に、皆様方からご意見等がございましたら、お願いします。よろしいですか。

それでは、大変長時間にわたりありがとうございました。委員の皆様方からは、議題1の小学校水泳授業の民間委託について、そして大綱に示された各事業につきまして、貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。ただ今伺いましたご意見は、今後の教育行政に反映させるべく努力して参りたいと存じます。

平成30年度からスタートしました第6次江南市総合計画におけます、政策的事業について、教育分野をはじめとしました様々な事業につきまして、精査をし、取り組んでいるところです。江南市の財政状況を鑑みながら、各事業に優先順位を付け、事業を実施して参ります。今後も委員の皆さまがお気づきになりましたことや、こんな風になればいいなと思うことなど、今後の総合教育会議などでご提案をしていただければと思います。

貴重なご意見やご提案をいただきまして、ありがとうございました。

それでは、本日の議題はすべて終了しました。皆様のご協力によりまして、無事に議事進行を終えることができました。

それでは、以降の進行につきまして、事務局にお返しいたします。

<企画部長>

お疲れ様でした。これにて本日の会議を閉じさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

午前10時48分 閉 会